

## 令和6年度第2回薬剤師卒後研修プログラム部会 結果

- 1 日時：令和6年7月5日（金）14時～15時
- 2 開催場所：Webexによるオンライン会議
- 3 結果：

（1）開会のことば（薬務課長）

（2）議事

- ①茨城県病院薬剤師卒後研修プログラムガイドライン（案）
- ②病院薬剤師卒後研修プログラム自己評価票（案）
- ③その他（今後のスケジュール）＜口頭で説明＞

### 【以下、各委員からの主な意見】

#### 《研修項目の高齢者医療について》

- ・中小病院委員会での検討の中では、自病院の関係先として老健施設などがあるところで、老健施設に訪問することを研修項目として求めているように記憶している。

#### 《研修項目の「その他」の項目について》

- ・病院独自の研修項目として、この部会が適切な項目として認められるものを認めてはどうか。また、ガイドライン案が将来に向けて対応できるもの、追加できるような形にするのはどうか。

#### 《中小病院の対応について》

- ・病院の規模によっては対応が困難な場合があると思われる。薬剤師が1、2名しかいないような病院では、全体的に大変なプログラムになると感じる。
  - ・薬剤師が数人しかいない病院では、この研修プログラムを実施していくことは難しいと感じる。病院同士の横のつながりを強化していきたい。
  - ・中小病院で研修プログラムの作成が困難なため、その形にあったものに変えていけるようなものが良いのではないかと。
  - ・中小病院同士、特定病院や地域の大きな病院が補っていただけると良い。
- 無理のない範囲で研修プログラムを作成してもらうことを検討している。（事務局）

#### 《学生側の視点について》

- ・結婚や移動で病院を変えてしまうことがあるのではないかと。義務期間を続けられるよう受入れる病院の調整を検討してほしい。

#### 《学生のメンタルヘルスについて》

- ・研修プログラムでもそのようなメンタルヘルスの相談窓口を設置してほしい。
- メンタルヘルスを含めた修学生のフォローについては検討していく。（事務局）

#### 《議事を含めた全体について》

- ・これまでの議論を踏まえ、ガイドライン案・自己評価票案について、再度、薬務課と病院薬剤師会で調整をしていきたい。
- 今回のご意見を整理して、またお伺いしたい。（事務局）